



藤沢駅周辺地区再整備構想・基本計画  
概 要 版

藤 沢 市

## 構成・範囲

### 藤沢駅周辺地区再整備基本構想

#### 1. 検討すべき課題

#### 2. 地区のめざす姿と方向性

### 藤沢駅周辺地区再整備基本計画

#### 1. まちづくりの目標

#### 2. 分野別地区整備の方針

1) 都市機能配置・にぎわい形成に関する整備方針

2) 交通に関する整備方針

3) 都市環境形成に関する整備方針

#### 3. 重点プロジェクト

駅周辺街区  
北口駅前地区  
にぎわい・交流

#### 4. 実現化にむけて

### 【検討範囲】



## 基本構想

### 1. 検討すべき課題

市を牽引・先導する活力再生と他都市拠点との連携・分担を踏まえた担うべき役割

・市の都心部及び広域都市拠点としてのポテンシャルの再生とともに、市全体として活力創出にむけ、辻堂・湘南台などの都市拠点と役割分担・連携を見据えながら、地区が担う役割を果たすことが求められている。

湘南の玄関口、藤沢市の顔となる特性づくり

・湘南の玄関口として、また藤沢の都心部としてのポテンシャルや情報発信が求められる中で、空間・景観形成に配慮した特性を持った都市拠点の検討とともに、地区全体の都市構造やそのあり方等の検討が必要である。

藤沢駅を含む交通ネットワークの見直し

・低炭素社会及び超高齢社会を見据え、公共交通の利用促進とともに、交通モード間の円滑な連絡ができる交通ネットワークの充実が必要である。

・幹線道路網の充実とともに、より快適・安全な道路ネットワークのあり方・利用形態等についての検討が求められる。

・藤沢駅から街へと人が流れる動線や南北連携の強化など、藤沢駅周辺街区を核とした歩行者ネットワークの充実が求められている。

既存ストックの更新を見据えた、コンパクトな都市構造形成にむけた機能維持・配置

・藤沢駅周辺では建物や機能の更新時期を迎える民間・公共施設が多くあるが、地区全体を束ねるまちづくりの方向性・ルール等はない状況である。街としての一体感、効率性、活力創出とともに、都市拠点へのニーズ・役割等に対応するためには地区全体の都市構造を見据えた建替や機能更新等の推進・誘導の検討が必要である。特に活力維持・創出や、市民サービス等を配慮した機能配置等の方向性が求められている。

東日本大震災の経験を糧とした都心部・都市拠点のあり方

・多くの人が利用する藤沢駅があり、藤沢市の都心部として、災害等の緊急時において本地区が担うべき役割を再確認するとともに、備えを持った取組が必要である。

実現するための仕組み・ルールづくり

・地区全体で一体感を持ち、効率的・魅力的な地区形成を進めるには仕組みやルールづくりが必要であるとともに、より円滑な推進にむけ、事業者や市民、行政等が早期に連携した取組を図ることが求められている。

## 2. 地区のめざす姿と方向性

### 【地区のめざす姿】

湘南地域の広域拠点であり続け、湘南のくらし・海・風・太陽・文化に人が集い・にぎわい・人が楽しみ・人がエネルギーとなり、未来へと繋げる

“次の時代の湘南・藤沢ライフを先導し、プロモーションする都心”  
をめざします。



### 【「湘南らしさ」「藤沢らしさ」の持つイメージ】

- ・東京・横浜に近く結びつきながら、ゆとりのある時間の過ごし方・くらし方
- ・充実した都市機能・環境と自然環境の両方が近いくらし
- ・湘南海岸の自然と藤沢が育んできた歴史・文化による付加価値
- ・街を彩るにぎわいとくらし、そして誇り

### 【次世代における「湘南・藤沢らしさ」を支える本地区がめざす姿とは】

#### 広域性と都心性、湘南地域に対する責任を有した“湘南の都心”

41万市民と来街する人のために、行政・商業・サービス等、藤沢でくらししていくために必要な都心機能をアクセス性が高い場所で維持するとともに、「ハレの日」のお出かけ、買い物の街として、目的地となる商業地の再生をめざします。

#### 湘南・藤沢らしい「楽しい」を感じられる交流・にぎわい

“湘南らしいフラットな交流を楽しめるにぎわいの場・商業・サービス”をくらす人や観光客などが楽しめる街として充実します。

藤沢が積み重ねてきた歴史・文化、まちづくりの上にたち、くらす人、訪れる人、事業者がゆとりと活気をもてる街をめざします。

#### “湘南に来た”“湘南にいる”を体感

東京・横浜方面から、藤沢駅に降り立った際、“湘南の玄関口”として湘南を実感できる、また市民の愛着・\*1ローカルアイデンティティへと繋がる、都市空間・景観を形成します。

大きな空・太陽・潮風を、緑とともに感じられる、さらに湘南の四季を楽しめる街をめざします。

#### これからの湘南エコライフの実践・先導・発信

藤沢駅を中心に、交通・交流・\*2ソフトエネルギー・情報のターミナルを形成し、次の時代のライフスタイルを提案・先導する街をめざします。

公共交通を主体に中心市街地におけるユニバーサルデザインに配慮した都市空間づくりや、多く集まる人や自然環境を活用して、低炭素・低環境負荷からエネルギー創出へと転じる仕組みづくり、また様々な地産地消を楽しむ仕掛けづくり、災害などを見据えた空間・サービスの備えづくりなどをめざします。

\*1ローカルアイデンティティ:個人の帰属意識のうち、地域性に根拠付けられる・派生しているもの

\*2ソフトエネルギー:太陽、風力、水力、バイオマスなど環境に悪影響を与えないクリーンなエネルギーの総称

## 【地区整備の方向性】

## 藤沢の都心部機能集積の維持・充実

行政や業務、買い回り商業・サービスなどの都心機能を維持する。誰もが安心して利用できるよう、利便性の高い場所に集積を図るとともに、デパートやブランド力のある商業・サービス機能等の一層の充実を図る。

## 湘南・藤沢らしさを持った商業・サービス・交流の充実・創出

くらしている人のみではなく湘南を楽しみたくて訪れる来街者に対し、湘南らしさ、藤沢らしさを持つ、暮らしに近い商店街やサービス等の充実・創出を進める。

## 永年にわたり積み上げてきたストックを活かし、街を面的に楽しむ仕掛けづくり

藤沢駅を中心に放射状に広がる都市サービス機能の集積を活かし、‘くらしを楽しむための回遊’や、‘育んできた歴史・文化のもと新たな文化・レクリエーション・交流を楽しむ回遊’、あるいは‘朝・昼・夜と様々な顔を楽しめる回遊’など、街の広がりを活かした仕掛けにより、市民・観光客・就業者など様々な人が多様に楽しめる回遊・ゾーンの形成をめざす。

## にぎわい・交流の核の形成

藤沢を訪れた人に感じてもらう‘湘南・藤沢らしさを感じられるにぎわい’を形成するとともに、‘憩い・やすらぎをもった、ゆとりある活動・交流の場’や‘地域の活動を支える場’など、都心部での様々な活動を支えるにぎわい・交流の形成をめざす。

## 湘南・藤沢らしい空間・景観の形成

湘南・藤沢の玄関・顔となる空間や景観づくりを進める。また、藤沢市の都心部、そして湘南・藤沢らしい都市構造・空間や緑の配置等の誘導・維持を図る。

## 安心・快適と低炭素型交通環境の創出にむけた交通ネットワークの形成

公共交通を主体とした安心・快適な交通環境を形成することで低炭素型の実現をめざし、多様な交通モード間の円滑な移行や、道路ネットワークのあり方の再検討を進めるとともに、駅から街へと人が流れる回遊の形成をめざす。

## 次の時代を先導する環境や安心・安全への取組

エネルギーを大量消費するターミナルから、低炭素・低環境負荷型への転換、さらにはターミナルの持つ集まる人やもの、自然環境等の資源を活用したエネルギーを創出・自給する次世代型の都市拠点の形成をめざす。また、大震災等の経験を糧にターミナルが担うべき役割を再確認のもと安心・安全への備えを充実する。

## 1) まちづくりの目標

市及び湘南圏の都市拠点として、計画的な更新・充実による、人・街のエネルギーを集約・発信するコアづくり

都心部の‘湘南・藤沢ライフ’を楽しめるとともに、訪れた人にも見える・楽しめる、計画的な重複と分離による、くらしの場と交流・にぎわいの場づくり

多様な交通モードからの選択や環境・景観の取組みなど、くらし方・楽しみ方を通じた湘南藤沢らしさ・文化づくり

## 将来都市構造

## 藤沢駅周辺地区の中心となる「核」

：駅中心核、行政核

- ・地区及び本市の中心として、地区全体の活力・活気をけん引し波及する拠点の充実をめざす。
- ・都心部を維持する高度都市機能を集積し、地区及び湘南圏域の顔・玄関口としての役割を担う。

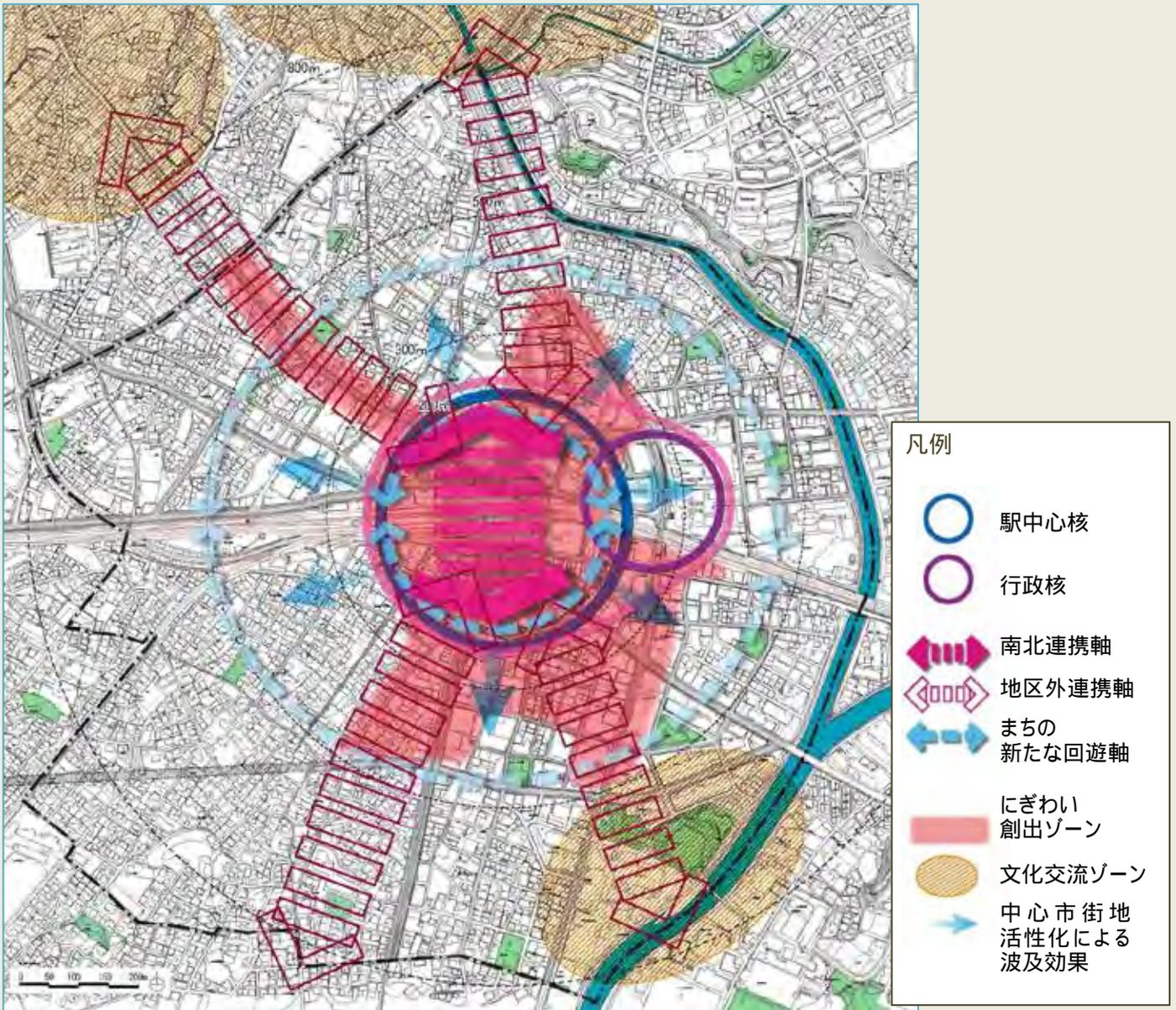
## 駅中心核

- ・鉄道3線が結節する藤沢駅を中心に、超高齢化・低炭素社会において、交通ターミナルとしての充実を高め、市及び湘南圏域の玄関口としての役割を担う。
- ・利便性の高さとともに、広域商業サービス・業務機能等の集積や機能更新・充実等により、地区のにぎわい・交流をけん引し都心部再生の\*3トリガー的な役割をめざす。

## 行政核

- ・本市行政の方向性を決定する\*4ヘッドクォーターの役割を担い、地域主権社会においてより重要な役割を担う。
- ・市民や事業者等との多様な連携・協働のあり方や、市民に対する象徴性、広域に対する応接機能の役割等、新たな公共の創造を先導するとともに、都心部の経済活動を誘発する都市経営や再活性化への役割をめざす。

## 2) まちの骨格づくり



### 凡例

-  駅中心核
-  行政核
-  南北連携軸
-  地区外連携軸
-  まちの新たな回遊軸
-  にぎわい創出ゾーン
-  文化交流ゾーン
-  中心市街地活性化による波及効果

核とまちなかを結ぶ「軸」：南北連携軸、地区外連携軸、まちの新たな回遊軸  
 ・駅街区に集中している乗降客、利用者を地区全体の集客・交流へと広げ、軸線を中心ににぎわい・活力の波及をめざす。

南北連携軸	まちの分断を解消し、核を強化・充実する軸
地区外連携軸	駅から地区へとにぎわい・活力を波及する軸
まちの新たな回遊軸	まちなかの回遊性を促し、地区内連携の増進により形成される軸

にぎわい・活力を創出するための都市機能

：土地利用を誘導する「ゾーン」

・にぎわい・活力創出にむけてそれぞれの特性を活かした都市機能の集積・誘導をはかるエリアとして、魅力とポテンシャルの形成・充実をめざす。

にぎわい創出ゾーン	・地区の基幹的商業施設や商業・サービスの小規模店舗等が集積し、市民の暮らしを支えるとともに、藤沢らしいにぎわいと交流、活力を創出するゾーン
文化交流ゾーン	・地域資源の活用や、市民等の交流・活動を支えるゾーンを形成し、地区の文化の育成・充実・発信をめざす。 ・「文化・交流」「歴史・文化」「交流・活動」

## 1) 都市機能配置・にぎわい形成に関する整備方針

## (1) 都市機能 - 多機能複合化した都市のにぎわいづくり

都市機能が集積する駅周辺街区の形成 交通結節点として吸引力のある都市機能の集積  
複合市街地や生活街の形成 街で過ごしたくなるにぎわい回遊軸の充実と都心居住環境の形成  
低層住宅地の維持・充実 都心部の利便性を享受する湘南藤沢らしの形成  
地区全体の回遊・交流づくり

## (2) 公共施設 - 湘南・藤沢としての公共機能のあり方

## 2) 交通に関する整備方針

南北自由通路、ペDESTリアンデッキ、駅前広場等の整備・充実  
幹線道路・生活道路の整備、交通環境の充実検討  
駐車場・荷捌き車両の適正配置  
自転車利用の環境整備  
歩行者の公共空間整備と案内・サイン計画  
地区内の新たな移動を充実させる回遊動線の創出・形成

## 3) 都市環境形成に関する整備方針

## (1) 低炭素型・共生型都市の形成 - 次世代に向けた湘南エコライフのまちづくり

省エネルギーを実践する低炭素型まちづくり  
環境負荷の少ない交通利用の促進・転換  
まちなみづくりと連動した水・緑・風を活用した環境づくり

## (2) 安心・安全 - 緊急時にも対処できるまちの備えとまちづくり

公共施設及び藤沢駅周辺における、災害に強い・非常時の備えを有した拠点づくり  
安心・安全を高める市街地形成の促進  
誰にもやさしいユニバーサルデザインの充実

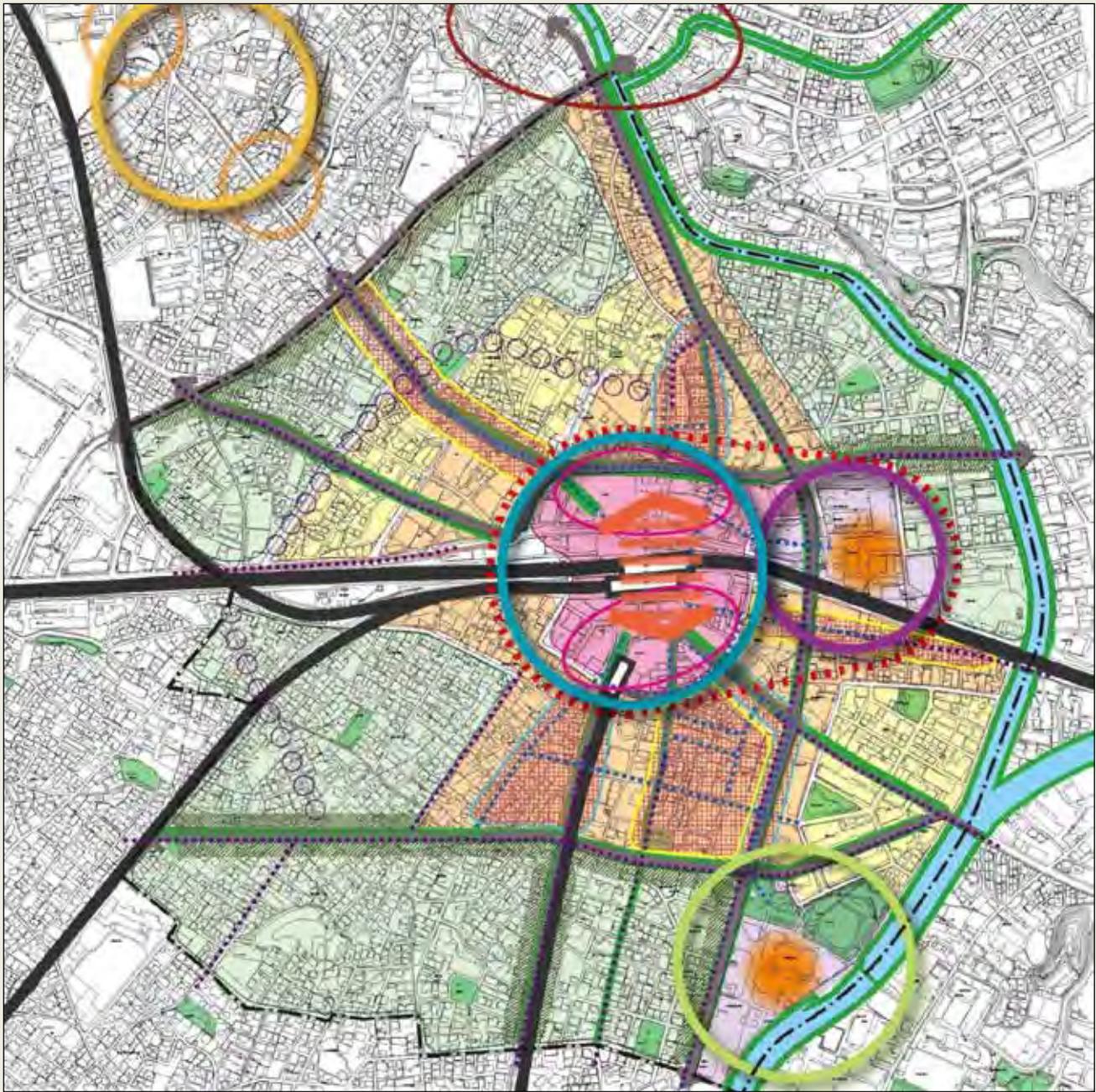
## (3) 景観・街並み - 湘南藤沢にふさわしい景観形成

藤沢駅前における藤沢の顔・玄関口づくり  
地区の軸線となるみどりのにぎわいのあるまちなみの形成  
ゆとりと太陽・緑が共存する住宅地の維持・充実  
都市活動・システム運営を通じた街の文化形成

## (4) 文化・歴史 - 地域資源を活用したにぎわい・交流

歴史資源・地域資源を活用した観光・交流の創出・育成  
市民の文化交流・活動を支え、提案する拠点形成  
湘南・藤沢らしい洒落た街での過ごし方の提案  
ゆとりとコンパクトな地区構造形成への誘導

[地区整備方針図]



- |   |  |   |  |   |                                |   |                       |
|---|--|---|--|---|--------------------------------|---|-----------------------|
|  | 広域商業・サービス等の高次な都市機能を集積し、活力を創出するゾーン                        |  | 湘南・藤沢の玄関口として、計画的な機能・建物の更新や先導的な取組を促進し次の時代を支えるターミナルの形成 |  | 大規模商業施設等の計画的な機能更新の誘導・促進        |  | 駅南北の機能や街を繋ぐ連絡軸        |
|  | 複合市街地として、商業サービス機能と居住機能を計画的に誘導するゾーン                       |  | これからの市庁舎像にふさわしい行政核の充実                                |  | 公共施設機能の建物更新や環境等の先導的取組の推進       |  | 水と緑のネットワーク            |
|  | 中高層住宅等による良好な居住機能を計画的に配置するゾーン                             |  | 市民の交流を創出する文化と緑の拠点の充実                                 |  | 公共用地における、地域と連携した機能更新           |  | 鉄軌道                   |
|  | 低層住宅を主体に、小規模な商業サービス機能等を共存する、ゆとりある街並みと安全な居住環境の維持・充実を図るゾーン |  | 市歴史文化資源を核とした観光交流の充実                                  |  | 特性を生かした連続するにぎわい・街並みの形成         |  | 幹線道路<br>" (未整備)       |
|  | 都心を表徴する公共公共機能を中心としたゾーン                                   |  | 公共用地を核とした新たな交流創出                                     |  | 生活街の創出                         |  | 歩行ネットワーク              |
|   |  |  | 地区及び市全体のシンボルとして、また活力創出・ポテンシャル向上を先導するエリア              |  | 後背の低層建物とのバランスに考慮、調整した機能・街並みの誘導 |  | 自転車ネットワーク<br>" (イメージ) |

重点プロジェクトの設定

- ・藤沢駅周辺地区の再活性化を図る上で、重要な役割を果たすとともに、地区全体への活力、にぎわい創出の波及効果や、先導的な役割を期待するプロジェクトを抽出し、「重点プロジェクト」として位置づけ、事業者・地権者、市民、行政等駅周辺地区に関わる多様な関係者が、各々主体的にかつ連携して取り組むプロジェクトとする。
- ・藤沢駅周辺地区再整備構想・基本計画の実現にむけ、今後、重点的、先導的に取り組むこととし、今後プロジェクト推進を図る際の方向性や可能性について、整理を行う。



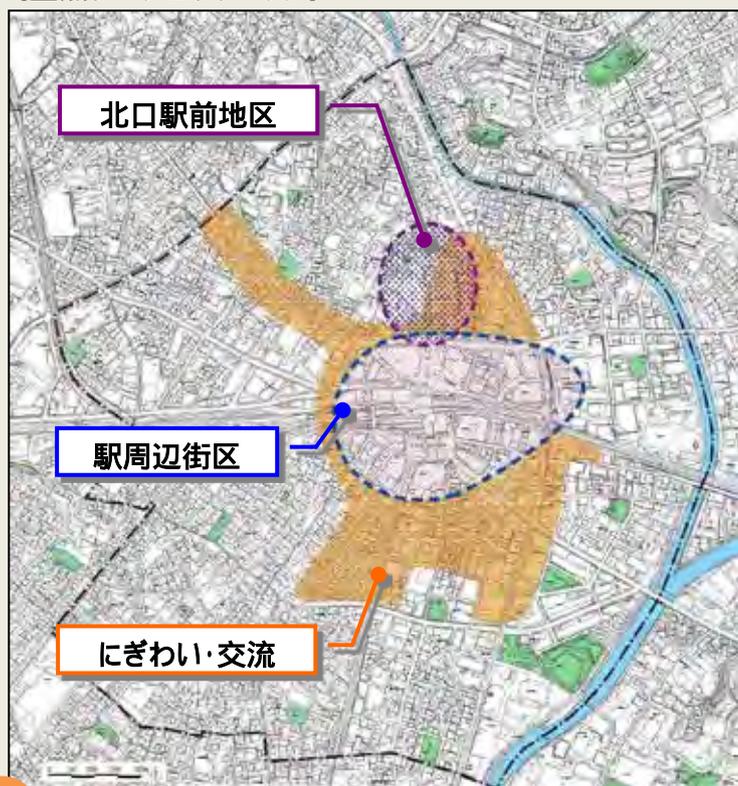
各々による主体的なまちづくりが連携し、都心部全体の活性化へと繋がるイメージ

駅周辺街区

様々な事業者・主体が関わりながら  
都心部再生をけん引するエリア

- ・高次な都市機能の集積を図るエリアとして藤沢駅周辺地区の再生及び本市全体の活性化を先導する地区形成にむけたプロジェクト。
- ・「駅及び駅前広場等の改良」や「市庁舎建替」の2つの取り組みを中心に地区全体の活性化をめざす。

【重点プロジェクトエリア】



北口駅前地区

事業が進行中の地区として  
新たなまちづくりにむけた  
モデル的役割を担うエリア

- ・駅北口のにぎわい活性化と産業振興を担う拠点創出とともに、新たなまちづくりの取り組みとして地区全体の先導モデル的な役割を担うプロジェクト。
- ・既成市街地である藤沢駅周辺地区において、大きく土地利用更新が進む地区である。

にぎわい・交流

地区南北に広がる商店街・通りが主体  
となって活力再生をめざすエリア

- ・地区全体の再生にむけて駅・駅周辺街区から街への人のながれを創出するため、魅力形成にむけた地域商業のにぎわい再生と交流活性化等についてのプロジェクト。

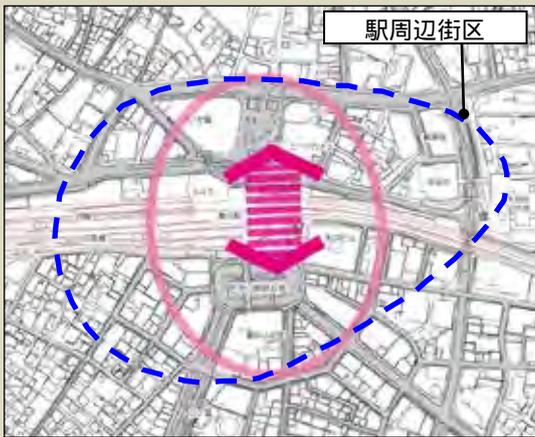
## 【 駅周辺街区 】

### 駅周辺街区の充実・再生検討にむけた考え方

#### 駅周辺街区の充実・再生検討をする上での視点

- ・「駅街区の充実」と、「市庁舎建て替えを契機とした街の活性化」が駅周辺街区の活性化を先導する役割を担うとともに、これらの連携強化がより新たな活力創出に資すること
- ・中長期を見据えつつ、駅周辺街区のバリアフリー化、施設老朽化への早期的な対応を想定し、短中期的な取組みを中心に検討すること
- ・市街地再開発事業や土地区画整理事業等によりこれまでに整備し蓄積してきた都市基盤を、十分に活かしていくこと
- ・街区としての一体感、連携を持った空間形成とともに、自立的に産業活動等を進めている多様な事業者、主体が個々に更新・開発を進めやすく、また街区のまちづくりと連携しやすい仕組みを検討すること

#### 周辺街区の活性化にむけ充実・再生を検討する区域について

	現状の駅街区に接する街区	駅と市庁舎を結ぶ街区
		
区域設定の必要性	都心部、広域都市拠点の核を維持・充実するために高度な都市機能、空間の誘導が必要のため。	地区を先導する駅街区と市庁舎の連携強化や新たな軸線形成が可能となるため。
検討メニュー	コンパクトな都市構造を支え、広域拠点にふさわしい高度都市機能集積の規制・誘導 ユニバーサルデザインの導入や藤沢都心部の玄関口、顔にふさわしい空間形成の誘導・連携 回遊形成にむけた南北連携・軸線の強化や、周辺区域へ人の流れをつくるポンプ機能の充実	藤沢駅と市庁舎との連携強化とともに、都心部でのにぎわいを伴う、新たな軸線を創出 街区再編及び土地利用転換 交通ネットワーク検討も含め、行政等と連携した計画・整備推進

- ・他街区においても、民間事業者の開発・更新ポテンシャルが高まった際に、必要に応じた連携・誘導のタイミングを逃さないよう、藤沢周辺街区の都市構造を長期的に見据えた考え方の検討を行う。

【 駅周辺街区 】

駅街区の改良検討

駅街区改良に際しての課題

- ・2009年の駅乗降人数は、現在の駅舎（橋上化）が完成した1980年よりも増加している。
- ・駅及び駅前広場の整備から30年以上が経過している。
- ・南北駅前広場におけるバス、タクシー、一般車の動線錯綜と、歩行者動線との一部交錯、さらには人のための溜まり空間の不足等がある。
- ・鉄道の乗換え動線と駅の南北を行き来する人の流動が南北自由通路で錯綜するため、街の南北の流動を阻害している。
- ・駅周辺地区全体のにぎわい・活力が低下する中、駅街区からまちなかへの動線の強化が商業者等から求められている。



- ・地下通路等のバリアフリー化、市庁舎と駅との歩行者ネットワークの向上が求められている。

以上のことから、南北自由通路、南北の駅前広場等には、現在の駅及び駅前広場等の利用人数に見合った規模の見直し検討と、施設利用上の利便性、快適性の向上が求められている。

整備のテーマ

駅周辺ネットワークの核となる緑溢れる空間演出と賑わいの源泉

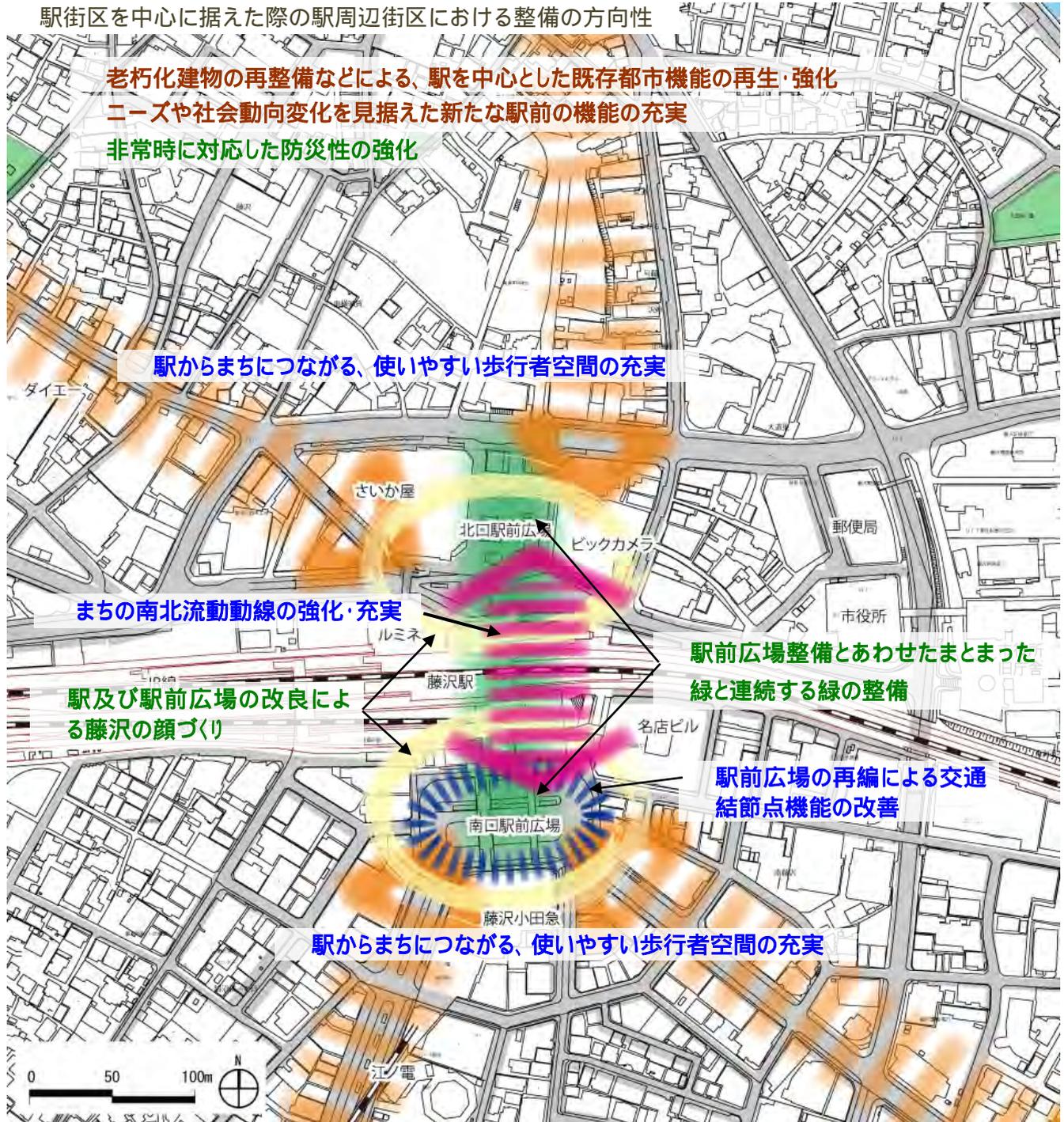
市内外から藤沢に訪れたい魅力とポテンシャルのある駅前と街への回遊の形成  
湘南藤沢を牽引する顔づくり・玄関づくり

庁舎建て替えを契機としたまちづくり検討

- ・今後、市庁舎建替にあたっては、これからの市庁舎のあり方を市民等と連携しながら検討するとともに、市庁舎の街区のみならず、駅周辺街区および都心部全体を見据え、活性化、にぎわい創出等のまちづくりの視点を含めながら計画検討を行う。
- ・市庁舎の建て替えが、成熟した都心部において活性化策やまちづくりを推進する際のトリガーとなるよう多様な主体と連携しながら検討する

駅街区を中心に据えた際の駅周辺街区における整備の方向性

老朽化建物の再整備などによる、駅を中心とした既存都市機能の再生・強化  
ニーズや社会動向変化を見据えた新たな駅前の機能の充実  
非常時に対応した防災性の強化



駅からまちにつながる、使いやすい歩行者空間の充実

まちの南北流動動線の強化・充実

駅及び駅前広場の改良による藤沢の顔づくり

駅前広場整備とあわせてまとまった緑と連続する緑の整備

駅前広場の再編による交通結節点機能の改善

駅からまちにつながる、使いやすい歩行者空間の充実

#### 実現にむけた検討事項

- 駅街区の改良検討・調整
- 都心部再生に資する市庁舎建替の検討
- 周辺街区再生を誘導するまちづくり検討

【 北口駅前地区 】

将来像

北口駅前地区の開発により魅力・活力を創出する複合都市機能エリア～駅前顔づくり～  
湘南藤沢にふさわしい、品格とにぎわいのある新しい藤沢都心を印象づけるエリア

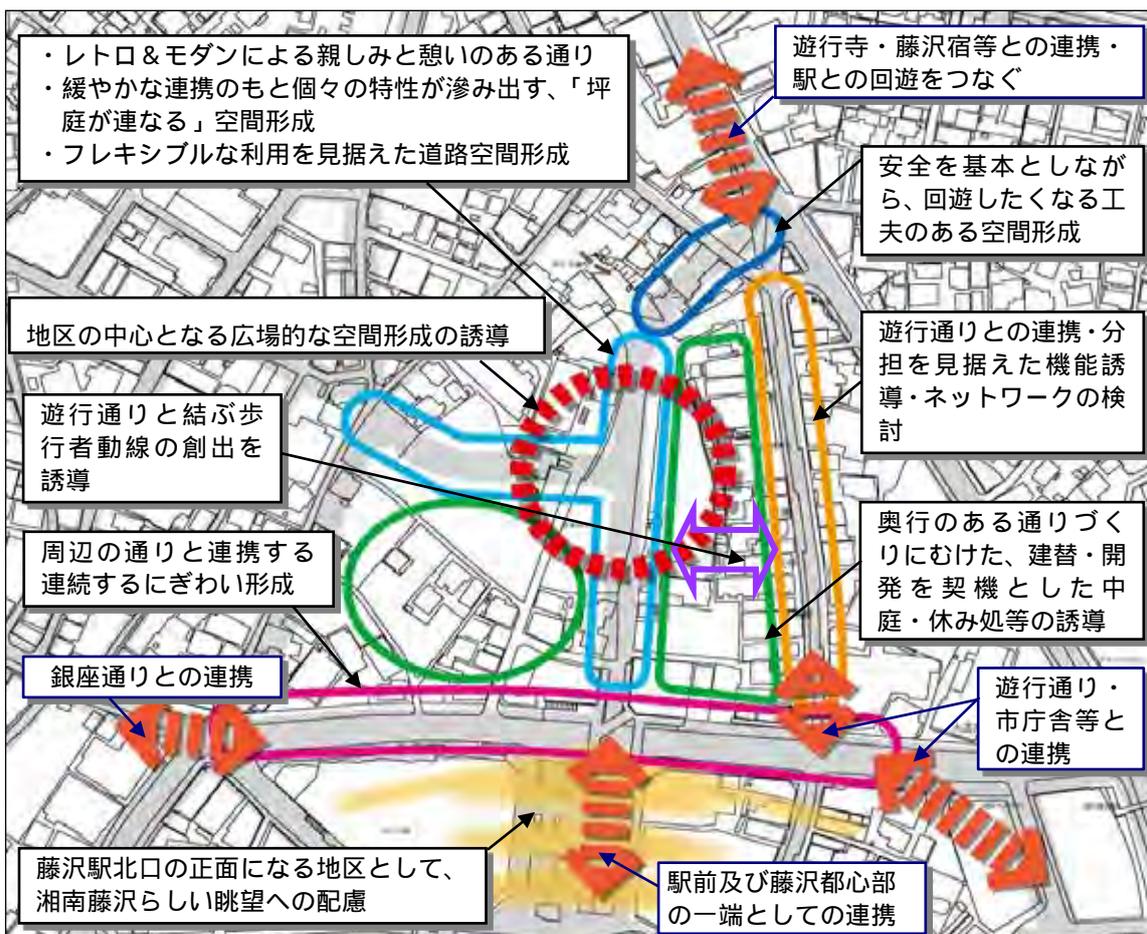
基本的な考え方

「藤沢都心部の核である駅周辺街区に隣接しながらも、駅周辺街区から一本奥まった「親しみと憩いのある通り」をめざす。

藤沢駅周辺で大きく生まれ変わる地区として、「これからの藤沢駅周辺の姿」を予感させるような風情を創出するとともに、地区のなりたちや藤沢宿・遊行寺・遊行通り等の歴史・文化資源と駅を結ぶ地区としての特性、さらに界隈性が形成できる道路環境を活かし、「レトロ」と「モダン」がミックスした空間づくりをめざす。

産業拠点と併せ、都心居住機能、商業機能等の立地により、一日を通して人がいる地区としての仕掛けづくりをめざす。

人が多く集まる駅前として、また新しく生まれる道路・地区に親しんでもらう為に、年間を通じた様々なシーン、イベント、連携に対応できるような施設整備をめざす。



実現にむけた検討事項

- デザインをコントロールする仕組み / ガイドラインの検討
- 地区の中心となる道の広場づくり

## 【 にぎわい・交流 】

地区全体のにぎわい・交流形成の考え方(抜粋)

通りごとの特性・魅力強化による地区全体の魅力・活気づくり

・商店街、事業者等が主体となり、各通りの方向性・性格を明確にした新たな魅力の創出・充実により、地区全体で多様な魅力を持つ活気づくりをめざす。

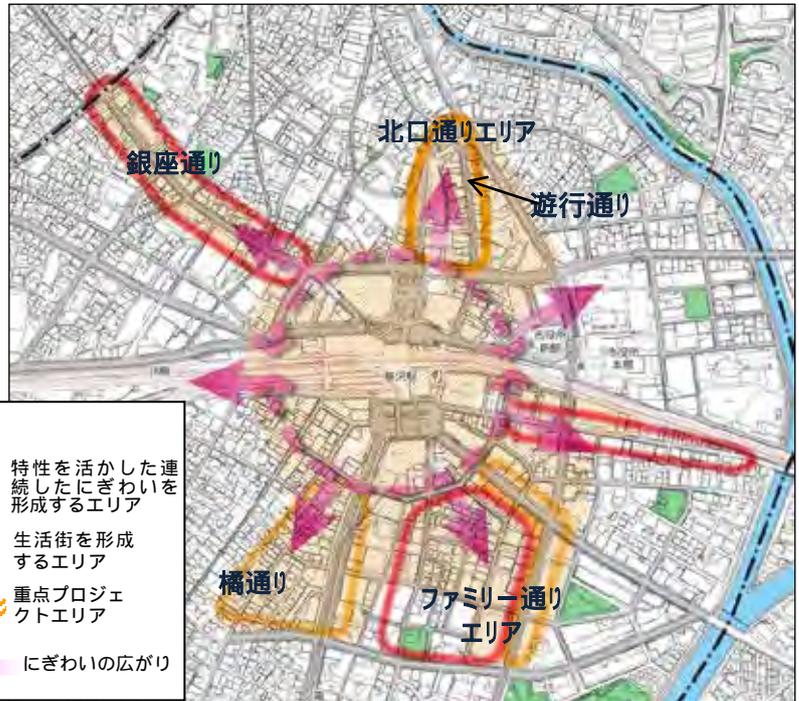
・銀座通り、ファミリー通りエリア等では「生活街」としての充実もめざす。

歩ける・憩える・時間を過ごしたくなる回遊づくり

・藤沢駅から快適に歩ける歩行者ネットワークの充実とともに、街区内の休憩・にぎわい空間づくりや仕掛け等による歩きたくなる回遊づくりをめざす。

・歩行空間の確保が難しい通り等での、交通環境の充実、交通システムの見直しも含めた検討を行い、利用しやすい通りづくりをめざす。

通りの魅力を高めるためのエリアマネジメントの検討



### 通りの将来像

	将来像	早急に検討が必要な事項
遊行通り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の文化資源を活かしたテーマを持ったにぎわいある通り</li> <li>・小さなにぎわいの連続が維持・創出する、街の回遊をつなぐ通り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワーク形成に資する回遊拠点形成</li> </ul>
北口通り エリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北口駅前地区の開発により魅力・活力を創出する複合都市機能エリア～駅前顔づくり～</li> <li>・湘南藤沢にふさわしい、品格とにぎわいのある新しい藤沢都心を印象づけるエリア</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通りとしてのにぎわいの創出・維持</li> </ul>
銀座通り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大小の商業店舗が集まり、湘南藤沢ライフを支え界隈性・ゆとりを生み出す通り</li> <li>・駅から人とにぎわいが流れる回遊・ゲートと、魅力的なにぎわいのある通り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北口通り線との連携・分担を見据えた通りの方向性</li> </ul>
ファミリー 通りエリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの特性・役割を活かし、様々な世代の市民生活を充実するエリア</li> <li>・みどりのネットワーク拠点をつなぐ回遊拠点となるエリア</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区形成の方針および規制誘導の考え方</li> </ul>
橋通り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鵜沼方面の玄関口、懐かしさと界隈性のある通り</li> <li>・ヒューマンスケールを活かした、親密性のある通り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・にぎわいの連続性維持の考え方</li> </ul>

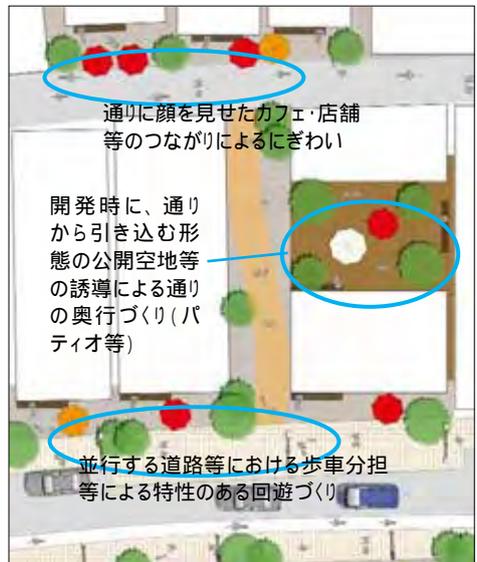
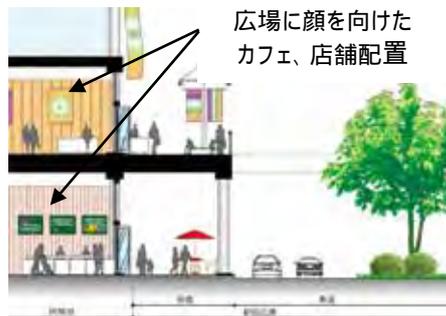
【 にぎわい・交流 】

核となるアクションプラン

まちを回遊し、くつろぎたくなる通りづくりへの取組み

～オープンカフェ等によるくつろぎ・にぎわい創出～

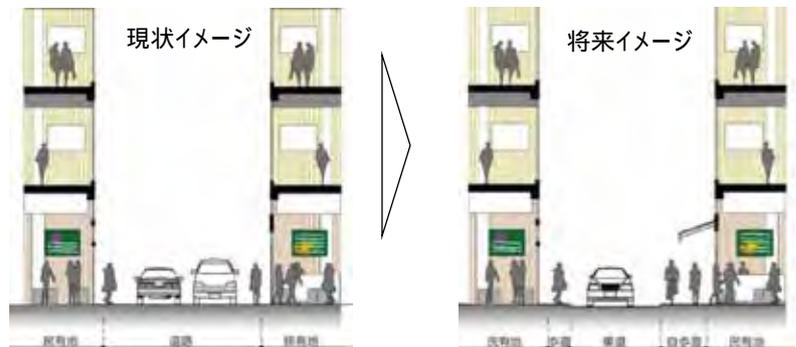
通りに面した店舗での連携したにぎわい創出・演出  
 駅に顔を見せる、にぎわいを予感させるにぎわい創出・演出  
 デッキを囲む空間での一体的  
 なにぎわい創出・演出



藤沢駅周辺の交通の考え方と連携した商業・サービス立地について

カフェや路面店等での自転車等の駐車スペース等の設置  
 新しい道路および沿道空間への親しみ・にぎわいづくり  
 一方通行や歩行専用道等の規制とあわせた安心・安全・にぎわいの充実  
 道路空間等でのベンチ・休憩スペースとの一体的なにぎわいづくり

整備前、整備後の断面イメージ



連続したにぎわい創出のための都市機能誘導等

商業・サービス等の都市機能を連続し、歩きたくなる街並み誘導  
 チャレンジショップ等の誘導による連続性確保と世代更新  
 生活街形成のためのサービス導入

実現にむけた検討事項

各通り、商店街ごとの方向性及びマネジメントに対する検討  
 にぎわい空間創出の先導的な取組 - 公共空間におけるオープンカフェの可能性  
 通りのにぎわい・快適性の向上に資する交通環境・システムの見直し検討

基本計画 4. 実現化にむけて

1) 基本計画の実現にむけた取組

まちづくりの誘導

基本計画によるまちづくりの誘導  
 まちづくりガイドラインの作成  
 都市計画等の制度・仕組みの活用

エリアマネジメント

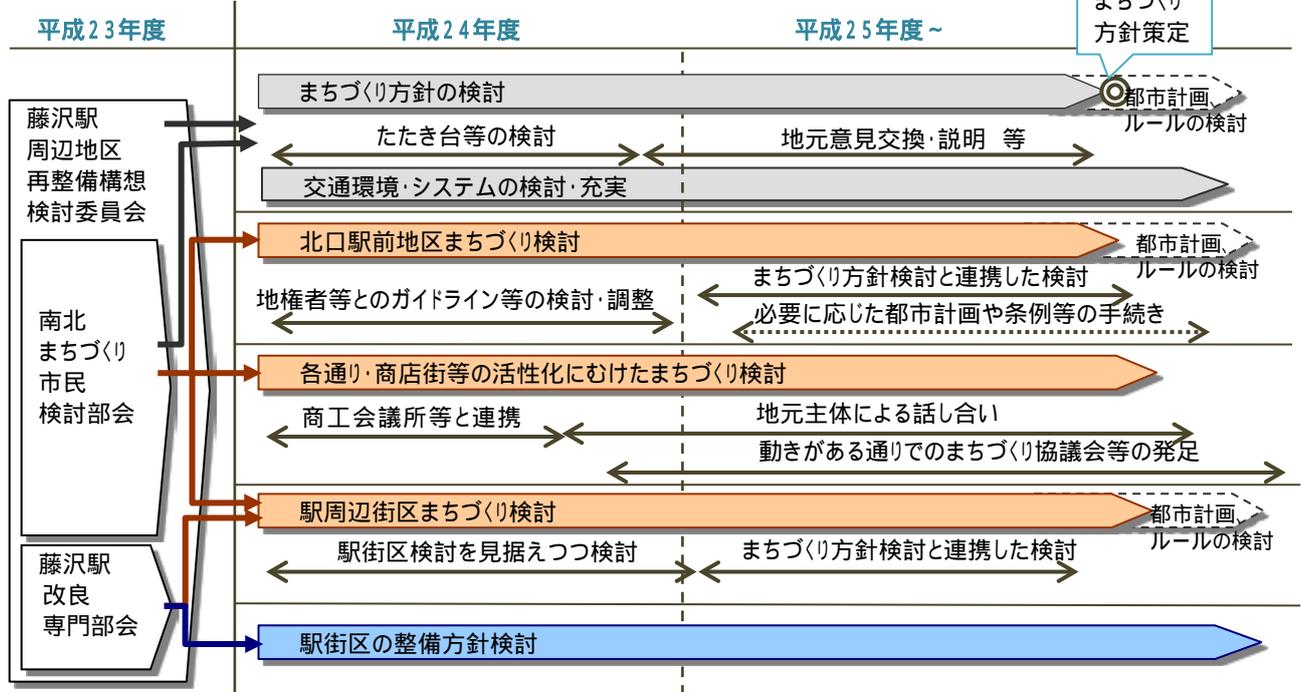
各主体の連携による効果的な形態でのエリアマネジメントの仕組み・体制について検討・運営を行う。(地区全体、通りや商店街、プロジェクトごと 等)

推進にむけた支援・情報提供

・必要に応じた協働・連携の推進、及び、マッチング等の支援  
 ・本基本計画の共有化も含めた、まちづくりに関わる情報共有や、各主体からの発信  
 ・藤沢駅周辺地区のまちづくりに関わる団体とのフレキシブルな連携・プラットフォームづくり 等

2) 基本計画の実現にむけた今後の検討について

藤沢駅周辺地区内における検討内容と今後の進め方



藤沢駅周辺地区内における主な取組と期間

主な取組	短期(約5年)	中期(約10年)	長期(約20年)
市庁舎建替計画	市庁舎建替		
ガイドライン等の策定	ガイドライン等の作成		
交通結節点の機能強化に係る検討	駅及び駅前広場等の整備・更新	駅に集中する交通秩序となる幹線道路の整備推進・促進	
駅及び商店街を中心としたにぎわいづくり(交通含む)	取組の推進	商店街の活性化	

